



令和5年12月25日 発行
 東京都立しいの木特別支援学校
 校長 濱渦 孝治
 担当 伊丹 聡
 電話 0436-66-2790

第8号
 (学校便り)

今年を振り返って

校長 濱渦 孝治

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。すっかり冬の季節を感じるようになりましたが、「学びの秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」・・・の2学期はいかがでしたでしょうか。4月より、児童・生徒の将来の社会参加や社会的自立に向けて教職員一同で取り組んでまいりました。一人一人が確実に成長した姿は、担任が通知表等を通じてお伝えします。2学期も、千葉県立楨の実特別支援学校、椎の木台自治会、有秋南小学校、ふじ幼稚園等、地域の方々と交流を深めるとともに、御支援をいただきました。身近な地域の中で、地域の人々との活動を通して、初対面の人と接する際に協力することの大切さを学ぶことができました。また、交流活動を考えたり、ルールを友達同士で取り決めたりする経験を重ねる中で、卒業後の生活に必要な周囲と協調することや規範意識を遵守することも学ぶことができました。

11月8日(水)に、第2回学校運営連絡協議会を開催し、7名の協議委員の方にご出席いただきました。内容は、①学校評価アンケート、②学校経営計画の進捗状況、③令和7年度以降の本校の教育活動等についてでした。今年度、学校評価アンケートの質問項目及び回答方法(webによる回答)を見直しました。アンケートへのご協力ありがとうございました。この後、報告書を作成し、第3回学校運営連絡協議会にてご報告いたします。学校運営を活性化し、改善を図っていくのは本アンケートのみではありません。お子様の指導や生活面の悩み事、学校への要望等いつでも本校教員、管理職にお伝えいただき、皆様と共に改善策を検討していきたいと思っております。

学校運営連絡協議会の当日、椎の木台自治会の皆様にお越しいただき開催した「さつま芋配布会」を、協議委員の皆様にもご参観いただきました。児童・生徒が袋詰めをしたり、実際に手渡したり、呼び込みをしたりとそれぞれが役割分担し、活気のある正面玄関での活動でした。地域の皆様に優しい言葉を掛けていただき、お礼の絵手紙などを頂きました。椎の木台自治会の皆様には、12月5日(火)の木管5重奏の演奏会にもお越しいただきました。今後も、学校の日々の取り組みを活かした内容で交流を深め、体験的な活動の充実を図ってまいります。

さて、「今年の漢字」は『税』でした。選ばれた理由は、増税の議論が活発に行われたほか、定額減税やインボイス制度、ふるさと納税の見直し、酒税改正、新NISAなどといった『税』にまつわるテーマに関心が集まったといわれています。「今年の漢字」は日本漢字能力検定協会が毎年発表しているもので、1995年の『震』(阪神淡路大震災が発生)以降29回目となりました。そして、この『税』が1位になるのは2度目で、その当時(2014年)は、消費税が話題の中心でした。皆様は、今年を漢字一文字に表すと何になりますでしょうか。ちなみに校長は『新』、副校長は『読』です。

最後になりますが、本校の教育活動にお寄せいただいたご理解とご支援につきまして、改めて心より感謝を申し上げ、年末のご挨拶とさせていただきます。

木管五重奏「よんぼうウインドアンサンブル」鑑賞会

12月5日(火)に、木管五重奏の鑑賞会を行いました。今年で5年目になります。今回は児童・生徒のみならず、椎の木台自治会の皆さんにもおいでいただきました。大好きな「トトロ」や「鬼滅の刃」などの曲では、児童・生徒と一緒に歌ったり、体を揺らしたりしながら聴いている姿が印象的でした。また、ムソルグスキー作曲の「展覧会の絵」では、生徒の描いた絵からAIがイメージした音をつけるアプリを使用し、コラボ企画を楽しみました。生徒たちは皆、穏やかに生の音楽の良さを楽しんでいました。お礼に作業班で作ったカレンダーや湯のみをお渡しし、喜んでいただけて生徒は嬉しそうでした。(文責：森 澄美子)



「千葉ホークス」との交流会

12月14日(木)に、車いすバスケットボールチーム「千葉ホークス」との交流会を行いました。第一部では、スラローム体験やシュート体験を行いました。選手の動きをよく見ながら車いすに乗って前進したり、ジグザグに走行したりすることができました。第二部では、選手とのミニゲームを行いました。4セットの熱戦の末、選手から計16点を取ることができました。第一部でも第二部でも、生徒一人一人が爽やかな汗を流し、笑顔で楽しむことができました。日々の体育や保健体育の授業で練習した経験が活かされた充実した交流会になりました。(文責：澤口 和洋)

1月の予定

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	3学期始業式
10	水	給食始
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	第Ⅲ期現場実習始、避難訓練
16	火	身体計測（小学部）
17	水	身体計測（中学部）
18	木	身体計測（高等部女子）
19	金	身体計測（高等部男子）
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	しいの木集会、実践報告会 短縮授業日（14:40 下校）
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	整形相談
31	水	

小学部

寒い日もありましたが、2学期の校外歩行は、片道20分程度の公園まで行きました。低学年の児童にとっては少し遠い距離で、帰り道は少し疲れ気味で、教員に寄りかかって歩くこともありました。体力の向上のため、一定程度の長い距離を安定して歩けるよう、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。体育では、「玉入れ」や「ボール投げ」など興味・関心の高い活動を取り入れることで、意欲的に取り組めるようになるなど、成長を大きく感じることができました。

2学期は、Shall we コンサートや校外学習・修学旅行などの行事で、校外に出る機会が多くありました。公共交通機関や公共施設の利用など、普段の生活では体験できないことも多く、貴重な体験と充実した学びができた学期となりました。
(文責：山田 麻衣)



中学部

12月1日（金）に中学部第1・2学年の生徒たちは、生活単元学習の買い物学習として、ファーストフード店に行きました。学校出発時は、緊張した様子もありながら、期待に胸を膨らませている様子が見られました。公共交通機関にはルールを守って乗車でき、車内では外の景色を楽しんでいました。店内では、自分が食べたいメニューの写真カードを店員さんに渡し、支払いまで行うことができました。食事中はポテトを美味しそうに食べたり、デザートを楽しみに1口ずつ味を噛みしめたりと、予定していた時間を一杯に楽しんでいました。今回の学習では時間が短かいながらもバスに乗る経験や、食べたい商品を店員に伝える経験ができました。2月の買い物学習では距離を少し伸ばし、さらに発展した目標を設定して取り組みたいと考えています。(文責：江口 太郎)



高等部

12月は1週目に校内実習、2週目に歯科保健指導、3週目には槇の実特別支援学校高等部2年生との交流会、千葉ホークスとの交流と、毎週何かしらのイベントがあり、まさに「師走」といった感じでした。忙しくても、ほとんどの生徒が落ち着いて過ごせ、見通しをもって各行事に参加できていました。特に、槇の実特別支援学校高等部2年生との交流会は、少ない時間での事前準備でしたが、とても充実した交流を行うことができました。当日はお互いの学校の生徒が交じり合ったミックスチームを作ってポッチャの交流試合をしたり、それぞれの学校の音楽発表を鑑賞しあったりと、内容も盛りだくさんでした。近隣の学校で頑張っている仲間たちと直接触れ合って交流することの良さを実感することができた交流会でした。
(文責：古山 武)



